



今回の勉強会では「ACLS」について学びました。ACLSとは二次救急処置を指し、心停止や呼吸停止、重症不整脈などの初期治療を目的とするものです。(一方で一次救命措置「BLS」と呼びます)。

勉強会ではダミー人形を用いて、それぞれ役割を分担し実際の動きに沿った練習を行いました。資料を元に患者さんの急変時から医師の到着までの流れ、準備する薬剤、除細動の使用法だけでなくAHA(アメリカ心臓協会)のガイドラインを用いた初期対応、胸骨圧迫などの蘇生方法を学びました。加えて、自分で呼吸を十分に行うことの出来ない患者さんへの気管挿管や急変時の対応、自己心拍再開後の対応を実際に行う事が出来ました。

透析の患者さんは血液を体外で循環させ、人工的に血液の浄化を行う治療を行います。このため循環動態の変動などのリスクも多く、特に近年では透析患者の高齢化も相まって急変に陥る可能性は決して低くありません。このため患者急変時に心肺蘇生法など一次救命処置を行うだけでなく、その先の処置である二次救命処置も非常に重要となってくるのです。